

肺切除術を受けられる

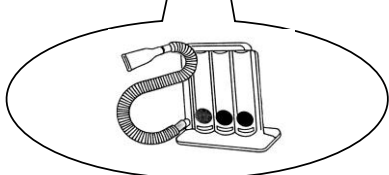

様の入院計画表 (患者ID: _____)

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

岡山赤十字病院 病棟 (_____ 7階東) 外科 主治医 _____

受け持ち看護師 _____

患者様署名 (代理人署名) _____

日付	入院時		手術当日		手術後	手術後	手術後	手術後	手術後	手術後	手術後
	月	日	手術前	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
達成目標	手術の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。			・鎮痛剤を使用し、疼痛をコントロールできる。	・呼吸状態に異常がない ・離床の必要性を理解し、離床できる。			・退院できる。			
説明	<ul style="list-style-type: none"> 病状・手術について主治医が説明します。 予定日時— 入院生活・手術について看護師が説明します。 麻酔科医の手術前の訪問があります。 手術室看護師の手術前の訪問があります。 呼吸練習 (トリフロー) をしてください。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。 手術前日～手術後1日目頃に、薬剤師より、術後飲んでいただく内服薬についての説明があります。 					退院 ・今後の日常生活について主治医・看護師がお話します。			
検査	・弾性ストッキングをお渡しします。 主治医にて動脈から採血を行います。(必要時)		・血圧、脈拍、体温を測ります。	・血圧、脈拍、体温を測ります。 ・胸部レントゲン (手術直後)	・熱を測ります。(朝・昼・夕) ・胸部レントゲン ・採血	・胸部レントゲン ・採血	・熱を測ります。(昼) ・胸部レントゲン ・採血			・胸部レントゲン ・採血	
処置薬剤	 <p>以下の物を、手術までに、準備して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> T字帯 1枚 バスタオル 1枚 ティッシュペーパー 1箱 <p>*主治医より指示があれば胸帯 (マトラー) を購入していただきます。必要時にはお伝えします。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 手術する側の胸に印をつけます。 10時頃より点滴をします。(午後から手術の場合) 手術衣 (お持ちします) に着替えます。 弾性ストッキングをはいてください。 時 分頃 手術室へいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素吸入をします。 点滴をします。 抗生剤の点滴をします。 手術中 夕方 時頃 足に血栓予防のためにマッサージ器をつけます。 吸入を1日4回は行ってください。 胸に管が入っています。 傷が痛む場合、鎮痛剤を投与します。 	起床時まで 午前中迄 ・胃薬を3日間飲んでください。(朝夕食後) ・痰をきりやすくする薬を5日間、飲んでください。(毎食後)			抜去 手術後1～4日で胸の管が抜けます。管が抜けて、1～2日後には退院できます。ただし、空気漏れがあれば長引くことがあります。		(糸抜きが必要な場合は外来受診時に行います。)	
安静度	・自由です。			・床上		・自由です。					
排泄	・トイレへ歩いて行ってください。			・尿の管が入っています。		・尿の管を抜きます。 ・トイレへ歩いて行ってください。					
食事	・普通食がです。		・時 から絶食です。 ・時 から絶飲です。	帰宅後水を飲んでもよいです。		朝一五分粥 昼一七分粥 ター全粥がです。	・普通食がです。				
清潔	・入浴またはシャワーを浴びてください。		・朝、シャワーをしてください。 <small>男性7時～女性8時～</small>		・タオルで体を拭き替えます。	・タオルで体を拭きます。	・タオルを配ります。	・胸の管が抜け、水にぬれてもよい絆創膏に貼りかえたらお風呂に入れます。			

特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○)
 総合的な機能評価: 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助

入院時この用紙を持参してください。

岡山赤十字病院 開始年月 H.15.10 改正年月 H28.8

